

夢に向かって

夢を与えるプレーヤーになりたい——

佐藤 ^{るあ} 琉亜 さん (県北中3年)

第19回



僕の将来の夢は、バスケットボールで全国大会へ出場することです。兄が高校生の時、バスケットボールで全国大会に出場してベスト8になっているので、その成績を超えたいと思っています。最終的には、プロの選手になって活躍できたら嬉しいです。

バスケットボールは兄の影響で始めました。練習してきたスキルでディフェンスを抜いた時の爽快感や、『絶対に止める』という気持ちでディフェンスをして、止めることができた時の達成感がバスケットボールの魅力です。部活動では男子バスケットボール部の部長を務めていました。チームを一つにまとめることに苦労しましたが、自分が手本になるように行動して、積極的に声かけ

をしました。最後の中体連では負けてしまいましたが、チームのみんなで悔し涙を流したことが思い出に残っています。部長としての達成感を感じることができたし、本当に良い経験ができたと思います。

高校に入学したら、自分よりもバスケが上手い人がたくさんいると思います。先輩や同級生などに負けないよう努力して、レギュラーを獲得できるように頑張りたいです。そして、プロの選手になれたなら、小さい子どもたちが『自分もバスケットボールをやってみたい』と思うような、たくさんの人に夢を与えることができる選手になりたいと思います。



町長コラム

ま 真 こらむ

【第28回】

みんなが主役

保育所と幼稚園の運動会、市町村対抗の野球とソフトボール大会、小学校の学習発表会、中学校の柏葉祭、そして国見町文化祭と行事が続く。それぞれがそれぞれに頑張ったことを発表する、発揮する。一人ひとりが主役。

保育所の運動会。皆で踊るダンスのときに、「納得いかないんですけど…」といった表情で、じっと前を向いている子。親と一緒に時間がとって楽しそうな幼稚園の運動会。進撃のソフトボール選手の笑顔。試合後のロッカールームで、来年を思う野球選手の目。

「うんとこしょ、どっこいしょ。それでもカブは抜けません」というセリフが何度も出てくる物語、「大きなカブ」を英語で演じて学習発表会のオープニングを飾った小学3年生。クラスの紹介動画とビッグアートの披露、国見を「知る、学ぶ、歩む」の発表、そして合唱コンクール。国見の中学生の尊さがストレートに伝わる。合唱の結果が発表されると、悔しくて泣いてしまう子たちもいたと。今しかない一緒に時間を大事にしてるんだと胸熱。また、小中学校ともICTを使いこなした進め方が秀逸。先生の指導、大変だったろうな。

国見町文化祭。音楽芸能発表会。歌、踊り、マジック…。みんな感心したけど、くにみ愛唱歌クラブが歌った「カメの遠足」が印象的。

“のんびり行こう 急いでいくとすぐ終わるだろう のんびり行こう ゆっくり行けばまだまだ続く…”の歌詞とメロディーが残る。

一人ひとりが主役。輝いてる。

引地 真

